



自衛隊第13師団司令部

広島第十三師団では総務課の前にある黒板には毎朝、伝達事項が簡易速記法で書かれ、各部隊から陸曹の代表者がそれを見に来るようになっていたのです。師団で陸曹教育に簡易速記法を取り入れて教育され、速記力の点では「他の部隊の追従を許さず」といって、師団長からいただいたお手紙の中に書いておられたことがあったのです。

今村博純空将は豊橋第一中学校で、寿円正巳空将は東京府立第六中学校で講演を聞かれた人、また広島島の江田島の海上自衛隊の幹部候補生学校に行ったとき、校長石博信敏海将は三重県の中学で講習を受けた人、またそこにおられた奥田 武一佐は（後、将補）名古屋の愛知一中で習った人でした。

陸上の菊地康太一佐も上手で、自分が課長をしておられるときは、課内の掲示は簡易速記法を使ってよいといっておられました。

同じ陸上自衛隊の佐藤輝吉一佐は簡易速記だけでなく、本格的な中根式速記の上手な人で、幹部級では全国一人の人で、今でも大変お世話になっているのです。宮崎恭平という人が東京府立第六中学校で、